

【創育クリエートメールマガジン vol.5】 [女性の社会進出]

2018.3.16 発行

日頃は格別のご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。

本メールは、弊社、創育クリエートが送信元となり、森上教育研究所の協力のもと、教育業界に関するさまざまな情報をお届けするメールマガジン「創育クリエートメールマガジン」です。

なお、本メールは、日頃お付き合いのある、学校関係者様、企業ご担当者様、以前にお名刺を交換させていただいた方へお送りしています。

さて、第4回「私立中学入試を振り返る」はいかがでしたでしょうか。

第5回は、「女性の社会進出」がテーマです。

ぜひ御愛読いただければ幸いです。

=Girls, be ambitious! =

3月3日は雛祭り、8日は国際女性デーでした。「女性の社会進出」という言葉が言われるようになって幾星霜。先日、ちょっと明るいニュースが報じられました。1月下旬に総務省がまとめた最新の労働力調査の結果では、15~64歳で働く女性の労働率は69.4%と、過去最高を記録したそうです。(ちなみに男性は85.6%) この調査でもう1つ明らかになったのは、M字カーブが解消されつつ

あるということでした。M字カーブとは「年齢階級別の労働力率が子育て期に低下し、アルファベットのM字の形状に似た曲線を描くというもの」（厚生労働省サイトより）。今回の調査では、M字の底であった30～34歳の女性労働力率が75.2%となりました。この背景には、国・企業の制度改革、景気回復や人手不足があると考えられています。

教育現場における女性のデータも見てみましょう。内閣府がまとめた2017年版男女共同参画白書によると、大学(学部)進学率は男子55.6%に対して女子48.2%。専攻別では、理学、工学でそれぞれ27%、14%と、まだまだ大きな男女の偏りがあります。しかし、このあたりにも変化の兆しがあります。昨年、多くの首都圏私立女子中学の学校説明会で、理系進学が年々増加していることが報告されています。こうした変化の背景には、親の意識の変化や、学校でのキャリア教育の成果があるのではないのでしょうか。

中学・高校のキャリア教育のプログラムは年々充実し、多様化しています。読売教育ネットワークでは、順天堂大学医学部と協同で、高校生を対象とした「早期医療体験プログラム」を実施。手術にも立ち会うなど、リアルな医療現場を体験し、医学部を目指す高校生が医師の仕事の厳しさ、やりがいを知り、自らの志をあらためて見つめる機会になったそうです。このように、企業によるキャリア教育機会の提供が多様化、学校もこうしたプログラムを積極的に活用しています。これらの新しいキャリア教育は、女子のみならず、男子にとっても、学校教育の先の自らのキャリアを真剣に考える、絶好の機会となっているかと思えます。

最近、共学校の先生方から、生徒会活動でリーダーシップを発揮する女子生徒のお話を聞くことがたびたびあります。学校で発揮されたリーダーシップが将来につながり、女子が自分の思う道を力強く切り拓いてほしいものです。キャリア教育はそれに資するものであるよう、さらなる充実が求められています。

Girls, be ambitious! とはいうものの、世界経済フォーラム(ダボス会議を主催する国際機関)による日本のジェンダーギャップ指数(男女格差を測る指数)は144カ国中114位。Girlsが思う存分その力を発揮できるよう、社会における男女格差を解消していくのは、私たち大人に課せられた大きな課題です。

(執筆：森上教育研究所アソシエイツ 高橋 真実)

いかがでしたでしょうか？

次回も皆さまにとって有益となるような教育情報のメールマガジンを配信できるよう努めて参りたいと思います。

なお、本メールマガジンですが、内容等についてのご意見、アドレス変更、配信停止については末尾のE-mailアドレスよりご連絡をお願いいたします。

■送信元：株式会社 創育クリエート

東京都港区西新橋 3-24-3

T E L . 03-5472-5772

create@soiku-c.co.jp